

## 第2回東海市公の施設の指定管理者選定委員会会議録

日 時 令和6年（2024年）8月8日（木）

午前9時30分から午前11時30分まで

会 場 庁舎403会議室

出席者 委 員：鈴木健司委員長、加藤知子職務代理、松田剛委員、  
渡邊和夫委員

農 務 課：石松農務課長、角田主幹、榊原主任、南日主事補

社会教育課：永井社会教育課長、浅井統括主任、桑田主事

健康推進課：内山健康推進課長、猪熊統括主任、川地主任

高齢者支援課：池田高齢者支援課長、池田主事

市民協働課：仙敷市民協働課長、小倉主幹、徳永主任

事 務 局：成田企画部長、加藤企画部次長、中島企画政策課長、  
稲葉統括主任、江端主事補

欠 席 者 委 員：鈴木順子委員

公開の可否 公開

傍 聴 者 2名

（内容）

- 1 開会
- 2 公の施設の指定管理者の管理運営状況の評価及び候補者選定についての諮問  
企画部長より委員会へ諮問
- 3 諮問補足説明  
管理運営状況の評価の進め方について事務局より説明  
[主な意見・質疑]  
特になし

#### 4 令和5年度（2023年度）施設の管理運営状況の評価について

##### (1) 東海市クライנגルテン

施設担当課（農務課）より資料に基づき管理運営状況の評価について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

職務代理：5ページ〈開館日数〉のグラフについて、表の下の方に折れ線グラフが配置されているが、A評価の項目のため、表の上の方へずらしてはどうか。

担当課：修正させていただく。

職務代理：6ページ〈貸出農園利用者の満足度〉のアンケートの対象者は何人か。

担当課：貸出農園を利用している83名が対象である。

松田委員：6ページ〈みかんの収穫量〉では、改植の影響で収穫量が落ちているとあるが、影響はいつ頃までなのか。

担当課：改植は令和4年度に始め、今年度まで行う予定である。令和4年度に改植した木から令和7年度には収穫が可能となる予定であるため、令和7年度以降は収穫量が回復する見込みである。

渡邊委員：8ページに「入口A型バリケードの車両接触事故防止対策」を実施したとあるが、どのような状況で事故が起きていたのか。

担当課：クライングルテンの入り口には、出し入れ可能なポールが5つ設置してある。営業時間外は4つのポールが出ており、車1台が通れる状態であるが、ポールへの接触事故が起きてしまった。そのため、注意喚起をしたものである。

渡邊委員：利用者は自動車で来ることが多いか。

担当課：自動車で来ることが多い。

委員長：8ページに指定管理者がビオトープの手入れを行い、綺麗にしたとある。令和6年度から指定管理者が切り替わったため、業務の継続や廃止について市側が決定し、新しい指定管理者と調整すべきであると考えるが、どのようか。

担当課：ご意見参考にさせていただき、現在の指定管理者とビオトープのあり方について調整させていただく。

[審査結果]

総合評価：B

(2) 東海市立上野公民館

施設担当課（社会教育課）より資料に基づき管理運営状況の評価について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

委員長：施設の稼働率の算出方法はどのようなか。

担当課：利用時間数/貸出可能時間数で算出している。稼働率が上がらない要因として、同時間で利用ができない部屋の組み合わせがあることがあげられる。

委員長：コロナ禍前でも稼働率の目標値に達していないため、目標値の修正が必要だと考える。

渡邊委員：エレベーターの設置要望が多いことや、施設自体が老朽化していることを鑑み、建替えも検討してはどうか。

担当課：建設後50年以上経っているが、市の考え方として、鉄筋コンクリート造の建築物は耐用年数を80年と設定している。

事務局：市民からの要望や利便性の面は十分考慮しているが、市の保有する多くの公共施設に対して、全体のバランスを見ながら計画を策定し、建替えや修繕を実施しているため、その旨ご理解いただきたい。

職務代理：利用満足度のアンケートを8月に実施するのはなぜか。また、事業に満足した人の割合の実績は、各事業の満足度の平均値という認識でよいか。

担当課：利用満足度のアンケートの時期について、8月に実施しているのは指定管理者の判断であり、毎年同じ時期に実施している。また、事業に満足した人の割合の実績についてはその通りである。

松田委員：6ページ〈施設を利用した人の施設利用満足度〉を見ると、令和5

年度に大きく下落しているが、コメントにあるエレベーターの設置要望の増加だけでここまで下がるとは思えない。他にも要因があるのか。

担当課：エレベーターの設置要望以外では、駐車場が混んでいるという意見が多く寄せられている。2つの意見を合わせると全体の半数程となるため、影響度は大きいと考える。

松田委員：3ページ(2)支出⑤修繕費の備考に「避難誘導等」とあるが、「避難誘導灯」だと思われる。

担当課：修正させていただく。

委員長：エレベーターや駐車場の問題に関しては市の方針に関することであり、それが原因で利用満足度が低下しているのであれば、指定管理者には改善の余地がない部分になるので、そういった点を考慮した評価となるよう検討していただきたい。

[審査結果]

総合評価：B

### (3) 東海市しあわせ村

施設担当課（健康推進課）より資料に基づき管理運営状況の評価について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

松田委員：温浴室の休館はいつまでか。

担当課：令和6年7月1日から令和7年3月31日まで休館としている。

松田委員：2ページ「指定管理者の課題」として、温浴改修工事に伴う長期休館による利用者離れを抑えるため、対策を講じる必要があると記載があるが、「施設所管課の課題」には、温浴室の利用者を増やすための策を講じる必要があると記載があり、辻褄が合わないのではないか。

担当課：「施設所管課の課題」に記載した内容の意図としては、温浴室の改修はじめ、今後も別の設備の改修等しながら、利用者にとって利用しやすい施設を目指すとともに、長期的な視点で利用者を増やしていくことを目標として記載させていただいた。

職務代理：15ページ「ママキッズふれあい体操」は合計22回実施ではないか。

担当課：修正する。

職務代理：19ページのアンケートで、対象者70人はどのように選んだのか。

担当課：温浴室の受付の近くにアンケートを設置し、利用者の方に記入していただいた。

[審査結果]

総合評価：B

#### (4) 東海市立デイサービスセンター

施設担当課（健康推進課・高齢者支援課）より資料に基づき管理運営状況の評価について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

職務代理：30ページ「設備備品に関する満足度調査」において不満だと感じている方はどのような理由からか。危険な備品があるのか。

高齢者支援課：老朽化が原因だと考えており、危険な備品は使用していない。

委員長：事業収支が大幅な赤字となっているが、今後の事業継続に問題はないのか。

高齢者支援課：指定管理者の計画の中では、令和8年度頃に黒字化する見込みであり、しあわせ村デイサービスを加木屋デイサービスへ統合したのも黒字化へ向けた取組みである。

渡邊委員：高齢化社会の中で、デイサービスの需要は高まる一方だと考えているため、しあわせ村のデイサービスが廃止され、施設数としては減ってしまうが、今後の管理運営やサービスのあり方についてはしっかりと検討していただきたい。

[審査結果]

総合評価：B

(5) 東海市立緑陽コミュニティセンター

施設担当課（市民協働課）より資料に基づき管理運営状況の評価について説明  
[審査にかかる主な意見・質疑]

職務代理：1 ページ「Ⅱサービスの質の評価 4 指定事業・自主事業」はB評価であるが、アンケートを実施していない中、どのように評価したのか。

担当課：参加者からの声を参考に評価させていただいた。次年度以降については、アンケートを実施し、客観的な評価ができるよう努めさせていただく。

職務代理：アンケートを未実施であることが発覚したのはいつ頃か。

担当課：年度末に発覚した。指定管理者への説明はしていたが、認識の違いにより未実施となってしまう、反省している。令和6年度は確実にアンケートが実施できるよう、現在アンケート項目等の調整を進めている。

渡邊委員：開館時の館長及び事務員が体調不良により辞めてしまったため、体調管理にも気を使っていたきたい。

委員長：事業収支で大幅な黒字となっているが、要因は何か。

担当課：光熱水費の削減分が大きく影響しているが、新施設であり、実績のない中での計画策定となったため、実績との乖離が生まれてしまった。次回の指定管理者選定時には実績ベースで計画を策定する予定である。

[審査結果]

総合評価：D

5 今後の予定について

令和6年（2024年）8月26日（月）午前9時30分から

市役所501会議室

6 閉会